

## 株式会社ダーツライブ

### 短期間、少人数でワークフローを電子化 Web Plant SDKを利用した独自開発 でiPhoneでも承認が可能に

急速な事業規模拡大とスピーディな経営戦略で知られる株式会社ダーツライブ。増加する社員数への対応や、内部統制の強化が急務となった。これを受けてまず取組んだのが稟議書のワークフローの電子化。開発ツールの選択にあたって重視されたのが、社内ルールに合わせてカスタマイズができる自由度の高さ、組織や業務内容など環境の変化に迅速に対応できる柔軟性、構築や修正を外注に頼らず社内で対応できることだった。選ばれたWeb Plantは、その自由度とノンプログラミングの容易性を発揮し、短期間に多くのワークフローを電子化。さらに導入されたWeb Plant SDKにより、iPhoneでの承認も可能に。申請から承認までの一層のスピードアップを実現した。

#### お客様が実現できたこと

- ✓ ワークフローの電子化により申請・承認の統制、透明性、効率性が高まった。
- ✓ 人事異動やルール変更にも、外注に頼らず社内で迅速に対応ができるようになった。
- ✓ 出張時など場所を選ばずiPhoneで承認可能。意思決定がスピードアップした。

#### ▶ お客様プロフィール



### DARTSLIVE

法人名：株式会社ダーツライブ

URL：http://www.dartslive.co.jp

住所：東京都渋谷区恵比寿1-19-19  
恵比寿ビジネスタワー18F

創業：2003年11月

従業員数：147名

事業所等：4事業所（海外含む）

事業内容：ダーツゲームを中心としたネットワークサービスの提供

- ネットワーク対応ダーツマシン「DARTSLIVE」「DARTSLIVE2」を核に、専用のICカード「DARTSLIVE MEMBERS CARD」及び携帯電話・スマートフォン・PCで閲覧できるウェブサイト等を連携して展開するダーツの総合的なネットワークを展開しています。
- グループ会社のダーツライブアジアは、上記DARTSLIVEサービスを、2009年の香港を皮切りに、台湾、シンガポールと展開を始め、世界中の人たちへ発信していきます。
- グループ会社の株式会社ダーツライブゲームズは、2010年の「はじめの一步」から、新しいソーシャルエンターテインメントをプロデュースします。



DARTSLIVE TouchLive

ネットワークサービス

## — お客様の声 —



情報システムチーム  
チームマネージャー 柳川 智幸氏

### 「実際に体験して開発スピードに納得」

「社内外の変化の早さを考えると、柔軟性の高いものを利用し、自社でビジネスロジックを変更するというスタイルを大事にしたいと思います。今後は、Web Plantから書き出したデータをどう活用するかなど、連携面にも重点的に取組みたいですね」

## — 担当営業紹介 —



ソリューション営業本部  
佐本 真司

Web Plant、Web Plant SDKの  
更なる活用を期待しています



## お客様のご要望

- ▶ 紙ベースの申請・承認ルーチンを効率化し、ワークフローの内部統制と透明性を高めたい
- ▶ 組織や業務の変更に合わせて、柔軟かつ迅速にワークフローを修正したい
- ▶ iPhoneからも承認ができるようにしたい



## 導入前の課題と背景

### 事業の急拡大で求められたワークフローの スピードアップ

#### ユーザー環境の変化が早いと伺いました

「情報システムチームは、社内IT環境の管理を中心に、インフラの整備、ソフトウェアやシステムの導入と運用、社員のITやセキュリティ教育、社内ユーザーに対するヘルプデスク業務などを担当しています。あまり外注は使わず主に社内スタッフだけで対応しています。

ダーツライブは2003年の設立以来、急速にその事業を拡大し従業員数も急増しました。ワークフローの電子化もそれが背景になっています。スタート当初は社員数も限られていて、紙ベースの申請・承認でも何とかりましたが、社員数が増えるに従い、経理事務量の増加が無視できなくなりました。

事業の急拡大に適応しワークフローもスピードアップと精度が求められたのです。また、全国に事業が広がるなかで承認者の出張も多く、紙ベースのワークフローは申請者にとっても承認者にとっても大きなストレスになっていました。J-SOX法についてさかんに議論されていた時期でもあり、内部統制を高めることも目的として、2008年にワークフローを電子化することにしたのです」



## 導入の必然性

### 組織や事業環境の変化を前提に最適なツールを 選びたい

#### ワークフロー開発ツール選びのポイントは何か

「ワークフローは、例えば人事異動、組織変更、運用ルール改訂などのたびに修正や変更が求められます。そのためには、人事や経理などからあがってくる要望を迅速に反映させることが必要です。また、申請・承認データの集計や、その結果の活用を考えると、他のシステムとの連携も重要なポイントになります。Web Plantは外部へのデータ書き出しが非常に簡単ですし、好きなタイミングで書き出しや読み込みができるなど、他のツールに比べて連携

実現への自由度も高いことから、これならいけそうだと判断したのです」

## 工夫 運用の工夫 ユーザー部門に主体性を発揮させたい

導入はどのように進めましたか

「まずは3日間の講習を経理部門の人間も含めて受講してもらいました。ワークフローの運用には、実際に

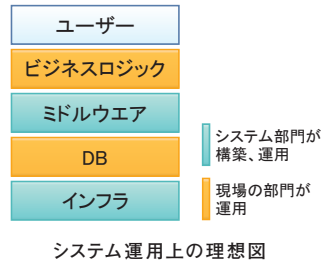
利用する部門が積極的な役割を果たす必要があると考えたからです。通常社内システムは、インフラ、DB、ミドルウェアと積みあがっていき、その上にビジネスロジックが載ります。このなかで私たち情報システムチームが主体となって整備すべきはインフラとミドルウェアであり、DBやビジネスロジックの部分は実際に使用するユーザー部門が率先し、可能であれば運用まで行うというのが、私たちの理想とするITイメージなのです。

講習会の受講により、ユーザー部門もWeb Plant ができるのかを理解でき、ビジネスロジックの仕様検討もスムーズになったようです。まずは稟議書の電子化に取り組みました。これは既にExcelで作られていて、要件定義も明快であったこと、他の業務よりも電子化が急がれたことから優先させました。開発に当たったのは1名のみ、2ヶ月で完成させました。従来はExcelに必要事項を記入したものを印刷し、稟議に回します。最終承認者のハンコが貰えると、その紙を経理に持っていくという流れでした。これを電子化したわけです」

その後も短期間に多くのワークフローを実現させたそうですね

「2008年5月からの3年余りで、稟議書に加え人事評価申請、備品利用申請、出張申請や精算、交際費利用申請、購買発注、PC貸し出し申請など、伝票の数で言えば12種類ものワークフローを電子化しました。承認経路や承認ランクは申請内容によって異なりますが、最長のアクティビティ数が10というのもあります。電子化されたワークフローについては、紙ベースの起票や申請は全廃されています。

また、申請データの活用においても多くの進歩がありました。たとえば申請データをWeb Plantの機能を使って外



部DB出力したものをインフォテリア株式会社のASTERIA WARPを使ってCSVに書き出し、これを会計ソフトに読み込ませて集計するなどが可能になっています」

## 成果 取り組みの成果 場所を選ばず承認。意思決定スピードも向上

開発時だけでなく運用時にもメリットを感じますか

「当初予期した通り、運用してみると人事異動や組織変更への対応はかなりの頻度で発生しました。その他にも稟議の内容に応じて承認できる金額の上限を変えたり、承認する人の階層が増えたり、仕様変更要望も少なからずあります。Web Plant を使うことでこうしたリクエストにも1週間以内に対応できています」



情報システムチーム  
チーフ 鈴木 敏之 氏

今ではモバイル環境でも承認できるとか

「以前から、ノートPCを重要案件の承認者には専用で用意したり、出張者には貸し出したりしていたのですが、VPN接続の設定が消えたり、ノートPCを広げる場所がなかったりして、帰社するまで承認が保留になることもありました。こうした状況を鑑み、社内システムのクラウド対応を進めるなかで、iPhoneで承認したいという要望が、特に社長から強く上がってきました。そこで2010年の秋に、Web Plant SDK を導入しました。Web Plant SDKにはさまざまなWebサービスのインターフェースが用意されているので、これを使って外部接続用のカスタムサーバーを社内に設置し、モバイル環境でもワークフローシステムが使えるようにしようと考えたのです。具体的にはiPhoneのVPN機能を利用してそのサーバーに接続し、専用アプリケーション上での申請案件のリスト表示や承認を可能にしました。コメントを入れて稟議を決裁することもできます。ユーザーである社長には、最高だと言ってもらいました。この開発はレッドフォックス株式会社へ依頼して2ヵ月程度でできましたが、Web Plant SDKの使い方については手厚くサポートをして頂いたと思います。iPhoneアプリ用のサーバーとサーバー側から呼び出すクライアントを作るだけで、それまでのワークフローを全然いじらずにiPhone対応が実現しまし

た。今後Webサービスのインターフェースが更に充実して行けば、iPhoneアプリでできることも広がるでしょうし、Android™ 搭載端末用のクライアントアプリを作成すれば、同じ仕組みを活かせるので、Web Plant SDK は色々なところで活躍して行きそうです」

ループはさらに成長をしています。社員も大幅に増え、それに合わせWeb Plant を導入したときは2人だった情報システムチームも今では5名になりました。今後は事業規模に最適化されたIT環境を、旬の技術を取り入れながらフレキシブルに整えて行く必要があります。たとえば人事マスターの整備やクラウド対応など多方面に業務が発生します。ワークフローもユーザーが主体的に運用できるように、Web Plantの活躍の場も広がりそうです。」

**将来**

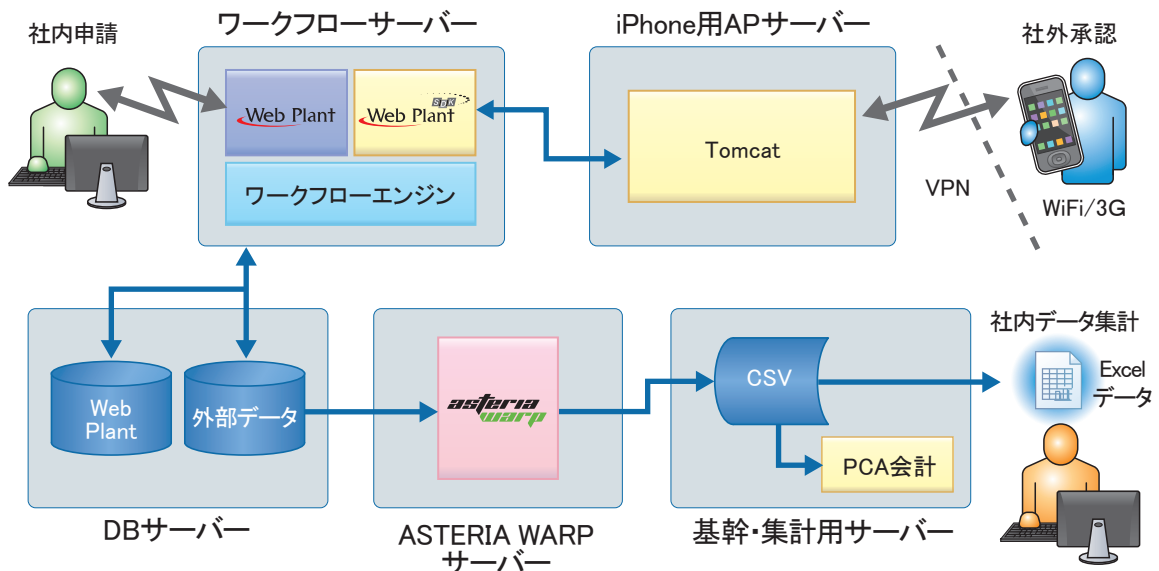
## 将来の展望

**データ連携、クラウド対応、取組みテーマは多い**

今後の展望についてお聞かせください。

「海外事業所や、関連会社の設立など、ダーツライブグ

## Web Plant を利用して開発したシステム



## 場所を選ばず承認可能で、スピーディな意思決定を実現

ワークフローシステムとWebサービスインターフェースの組み合わせで利用環境をモバイルにまで拡大

## ワークフロー構築ツール 「Web Plant」 プロセス統合決裁基盤 「Web Plant SDK」

Web Plant は経営のアイデアや現場に潜在する知恵をカタチにし、経営革新を実現するワークフローシステム構築ツールです。Web Plant SDK は業務システムに決裁機能を搭載可能なWebサービス対応。ワークフローをはじめ多様な業務ニーズに対応した統合決裁基盤を実現します。



Web Plant ホームページ

[canon-soft.co.jp/product/web\\_plant](http://canon-soft.co.jp/product/web_plant)

キャノンソフトウェア株式会社

東京 〒108-8317 東京都港区三田3-9-6 TEL (03) 3455-9885

大阪 〒541-0059 大阪市中央区博労町2-2-13 TEL (06) 7711-5851

E-mail: plt\_info@canon-soft.co.jp

**Canon** キヤノンソフトウェア株式会社

〒108-8317 東京都港区三田 3-9-6

○ iPhone は、Apple Inc. の商標です。iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。○ Android™ は、Google Inc. の登録商標です。○ Tomcat は、Apache Software Foundation の登録商標または商標です。○ Infoteria、インフォテリア、ASTERIA WARP は、インフォテリア株式会社の登録商標です。○ PCA 会計はピーシーエー株式会社の登録商標です。○ その他、記載されている会社名、商品名は、一般に各社の登録商標または商標です。

Copyright© 1999-2011 Canon Software INC. All rights reserved.